

## 社全協 公開学習会

# 英国の労働者教育協会(WEA)の活動

### 一その概要と現在の課題、日本の社会教育運動との交流にける思い一

社会教育推進全国協議会(社全協)は、この度、英国の労働者教育協会(Workers' Educational Association 略称 WEA)との交流・共同事業に取り組むことになりました。この推進のために、今夏、WEA のお二人、マット・リビングストーン(Matt Livingstone)さんと、ジュリア・ブラディ(Julia Brady)さんが来日されます。

社全協との打合せ、8月3～5日の第53回社会教育研究全国集会(千葉大学)への参加の他、複数自治体の公民館視察とハードスケジュールの中ではありますが、WEAの概要について、またお二人がそれぞれ関わってきた活動について、お話していただく機会を下記のように、公開学習会として開催することにしました。

是非、ご参加いただければ幸いです。

※WEAは1903年アルバート・マンスブリッジが創設した民間の成人教育団体です(WEAの名称は1905年から)。大学と労働運動をつなげ、高等教育を容易に受けることができなかった労働者に大学レベルの教養教育を受ける機会を広げていきました。民間の成人教育運動団体としてイギリスの成人教育の骨格をつくってきた団体ともいえます。

現在、英国における最大の民間成人教育団体の一つとして、イングランドとスコットランドで、地域、リージョン、全国レベルの活動をしています。リージョンオフィスと、ボランティア運営の支部を通じて年間9,500の教室を展開し、78,500人が学んでいます。あらゆる種類の教室を提供していますが、継続して大事にしているのは、社会的・経済的に不利な条件を抱えている成人に教育の機会を提供することだそうです。

**日時 2013年8月2日(金)午前11時～13時**

**場所 法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアノードタワー25階B会議室**

(参加者が少ない場合には16階社会学部資料室内会議室に移動して行います)

### 報告者

**マット・リビングストーン(Matt Livingstone)さん** 大学や地域での事業企画者、講師等の経験を経て、現在はWEAのヨークシャ・ハンバー地方(Yorkshire & Humber Region)のシェフィールド・ラーニング・センター(Sheffield Learning Centre)に所属し、リージョンや全国レベルでの、事業運営やプロジェクト立ち上げに活躍しています。



### ジュリア・ブラディ(Julia Brady)さん

日本には4年ほど大阪での滞在経験があり、現在は英語を第二言語とする人のための英語教育、とりわけパキスタンからの移民の英語教育を中心に、WEAの専属講師の仕事をしています。



(問い合わせ先 荒井容子 [yarai@hosei.ac.jp](mailto:yarai@hosei.ac.jp) 法政大学教授・社全協副委員長)

(WEAのお二人は、グレイトブリテン・ササカワ財団からの支援を受けて来日されます)